

基本的な情報をまとめた共通図面の作成について（案）

○ 全体構想における位置づけ

重点課題

重点課題 1：森林情報の一層の共有・活用の推進

協定対象森林の林況や路網など、各協定者や行政機関等の連携により、森林情報の共有化を実施する。

また、共有化された森林情報の活用により、施業集約化や路網整備、高性能林業機械の導入等について戦略的に展開する。

○ 短期的取組

- ・ 協定者間での施業計画等の情報共有・調整
- ・ 林況や路網等の基本的な情報を反映した共通図面の作成・共有
- ・ 施業計画や施業履歴のGIS化

取り組むべき事項（7つのアクション）

① 森林情報の共有・活用

（目的）

- 各種取組の戦略的展開に不可欠な森林情報の共有・活用

（取組内容）

- ・ 林況や路網等の基本的な情報をまとめた共通図面の作成
- ・ 施業計画や施業履歴のGIS化
- ・ 森林資源情報を一元管理する森林管理システムの構築

○ 共通図面の作業状況と今後の進め方（案）

- ① 国有林の林小班区域と民有林の林小班区域のGISデータを使って、協定者全体の林小班区域をまとめた共通図面を作成。  
《済み》
- ② 国有林の林業専用道のGISデータを使って共通図面を充実。民有林の林業専用道については、国土地理院の道路情報を仮置き。《済み》
- ③ 民有林の林業専用道のGISデータを使って共通図面を充実。また、紙媒体で整理されている林業専用道の情報についてはGISデータ化の作業を実施。《今年度中》
- ④ 衛星写真などを参考に、共通図面上での林業専用道の位置について確認作業を実施。大きな誤謬が確認された路線については、現地踏査を行い、共通図面に採用するGISデータを改めて作成。また、林業関係以外の路網情報についても可能な限り反映。《今年度中》
- ⑤ 各協定者における当面の間の施業計画を集約し、共通図面上に反映。《今年度中》

※ 来年度以降、森林作業道についてもGISデータの集約等を行い、共通図面上に反映することを検討。